

2021年6月10日

2021年5月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参関連の追加印刷を中心にコロナワクチン関連の案件もあり前年を上回った。しかし、前々年比で見ると84%であり、回復にはまだまだ時間がかかると思われる。

巻取は株主総会の招集通知関連が例年以上に動いたものの、その他の案件がコロナ禍の影響で動きが悪く前年並みであった。ただ、前々年比で見ると71%であり厳しい状況。

（前年比 平判 113.5% 巻取 99.5%）

再生紙平判、巻取とも官公庁関連の受注件数が少なく前年を大幅に下回った。前々年比でも73%で再生紙も厳しい状況には変わらない。

（前年比 再生上質平判 73.3% 再生上質巻取 53.8% 再生上質計 64.7%）

（前年比 印刷用紙 A 110.1%）

<A2 コート>

緊急事態宣言下ではあるが、カタログ、パンフ、チラシ等販促物の動きが戻ってきており、また、昨年休刊となっていた出版定期案件の復活もあり、グロス、マット紙の平判、巻取は前年を大幅に上回った。

一方で、緊急事態宣言中の自粛要請による各種イベントの中止、延期で業界の印刷物案件全般の需要は減少した。

（前年比 平判 119.3% 巻取 175.1% 全体 130.1%）

<A3 コート>

株主総会関連及び学習塾、食品スーパー、ドラッグストア等の定期的なチラシ案件と雑誌等の動きが戻りつつあり、平判、巻取共に大幅に前年を上回った。

（前年比 平判 111.0% 巻取 132.9% 全体 125.8%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融関連、その他生損保と一般の帳票関連が堅調に推移し、自治体毎の細かな支援金の動きもあり前年を上回った。

巻取は生損保、金融関連の動きも弱くコロナワクチン接種の需要も一部見られたが、前年の特別給付金の影響もあり前年を下回った。

（前年比 平判 113.9% 巻取 89.9%）

<上質フォーム>

トラベル関連の落ち込みは影響しているが、生損保、金融、官庁関連、納付書をはじめ、例年の議決権、招集通知案件の動きもあり前年を若干上回った。

（前年比 101.0%）

<包装用紙>

特殊両更は株主招集通知用封筒、官公庁関係の需要があり前年とほぼ同等の動きとなった。

(前年比 100.7%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途などの動きは鈍かったが、脱プラによる紙への移行で一部に動きが見られており前年並みとなった。

(前年比 100.7%)

片艶晒は株主招集通知用封筒、中元ギフト券用封筒の動きが好調で前年を上回った。

(前年比 104.6%)

両更晒は手提袋の一部需要回復と証券会社関連の需要が堅調で前年を大きく上回った。

(前年比 111.3%)

色クラフトは一般企業向けの封筒が堅調に推移し前年とほぼ同様の動きとなった。

(前年比 100.5%)

純白ロールは前年に比べ商業施設への客足が回復していて包装用紙関連に動きが見られた。また、お中元など贈答用にも動きが見られ前年を上回った。

(前年比 109.2%)

包装紙全体では109.3%と前年を上回った。

<板紙>

コートボールは食品、菓子は堅調であったものの、コロナ禍の影響で土産、日用品、商印は引き続き低調。

特板はテイクアウト向けが好調だったが、医薬品、化粧品は低調であった。

チップボールは出版の児童本は堅調だったが、パッケージ関連、土産向けは変わらず低調であった。

緊急事態宣言の影響を受けたものの、前年の売上が低調であった為、全体的には前年を上回った。

(前年比 120.2%)